

第7回（2022年度）日本アレルギー学会 働き方改革推進奨励賞



日本アレルギー学会では、ワーク・ライフバランスの向上に関する経験や工夫は全ての会員に有用であると考え、2016年度より「奨励賞」を設け、男女共同参画の理念も含めた働き方改革活動を積極的に推進している会員、または所属機関を表彰・広報しております。2022年度の第7回日本アレルギー学会働き方改革推進奨励賞は、会員及びその所属団体を対象に、学会誌及び学会ホームページにて公募し厳正なる選考のうえ、2022年12月の理事会において以下の通り受賞者を決定いたしました。なお、受賞式は本年10月21日、第72回学術大会時の働き方改革推進委員会企画セミナー内にて行われる予定です。

受賞者

脇口 宏之先生（山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座）

脇口先生は、山口大学医学部附属病院小児科の病棟医長として、2022年4月から「ユニット制」を導入し、医師毎の負担差を均等に是正する等、病棟担当医における働き方改革を推進しておられます。この「ユニット」制導入により、病棟診療を行う全ての医師がアレルギー患者の診療を担うようになったことから、アレルギー学会への入会を考える医師が増加するなど、学会への貢献度も高いと考えられます。更に当制度は、Covid-19感染症の流行禍に於いても、クラスターが発生しても診察において不利益を被らないような対策となっており、この取り組みは、他施設の働き方改革対策に良い影響を与えると期待されます。

増田 佐和子先生（国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科）

増田先生は、当学会で、女性支援委員、男女共同参画委員、働き方改革委員を務められ、働き方改革を推進するための調査や企画立案に長きにわたり関わり、活動を行ってこられました。2015年の第64回日本アレルギー学会学術大会男女共同参画企画では「子育てしながら仕事を続けるには？」としてご講演もいただいております。また、日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会に於いても、ダイバーシティ推進委員会委員長を担われております。キャリア支援に関する数多くの要職をこなされ、ご自身の家庭と仕事の両立の経験だけではなく、今後のあるべき姿についてご提案をされてきました。